

J **apanese text**

2019年 春/夏号 日本語編

旅

早春の美味を、由布院の宿で

撮影=小野祐次 (p.72 ~ 73、77)、阿部 浩 (p.74 ~ 76)
文=編集部 文協力=中野智恵、毛利智子、安藤菜穂子
取材協力=由布市ツーリストインフォメーションセンター

p.072

九州で、いや日本で最も有名な温泉地、それが由布院。心地よいおもてなしと最高の湯、そして早春の美味が待つ宿を厳選してご紹介しよう。

p.073

さんそうむらた
山荘無量塔

由布院に独自の文化を根付かせた宿

もともとあった自然と温泉を生かし、リゾート開発などにはまったく目もくれず、静かな田舎の温泉地として独自の文化発展を遂げてきた由布院。そもそも小盆地という立地の由布院は、かつてはキリシタンの隠れ里、さらに昔は平家の落人が隠れ住んだとも言われ、その歴史から人を温かく迎え入れ、ともに暮らす精神的土壌が醸成されてきたのだという。そんな由布院に新たな風を吹き込んだのが、ここ山荘無量塔だ。古民家を移築し、そこに洋家具を組み合わせたインテリアスタイルは、今でこそ見慣れた感があるが、最初に始めたのは無量塔の創始者、藤林晃司氏である。日本的なものとなつたものを融合させることで生まれる独特の居心地のよさ、それが人を迎え入れもてなす心と合致して、唯一無二の由布スタイルを花開かせた。早春の由布院、山と海の幸の芽吹き季節の美味が待つ無量塔で、この地の豊かさを感じてほしい。

左ページ：大分産おおい冠地どりの卯月鍋。新たまねぎや蓴、ごぼうやクレソンなど春野菜がたっぷり。

左：8名まで宿泊できる「明治」。古民家ならではの見事な梁や囲炉裏が、北欧の家具と融合し落ち着いた雰囲気醸成。広々とした2つの浴室の湯はともに源泉かけ流しの温泉だ。

右上から：卯月の献立より。はなびら椀の鶯仕立ては、あいなめなど白身の魚に春を告げるごみを添えて。鶯色の出汁にはグリーンピースが使われている。山女魚と菜の花の桜香寿司。彩りも美しい春のご馳走。

大分県由布市湯布院町川上 1264-2

Tel.0977-84-5000

www.sansou-murata.com/

明治 4万 9830円～ (税・サービス料・入湯税込)

p.074

亀の井別荘

別荘の心地よさを極めた美食の宿

大正期に要人接待用の別荘としてスタートし、現在では由布院を代表する名宿となっている亀の井別荘。オーナーの中谷太郎氏が「別荘としての原点を大切に、“非日常”ではなく“理想的な日常”をご提供したい」と語る通り、茅葺きの門から一步入ると、そこには温かいもてなしに包まれた別天地が広がっている。約1万坪の敷地内に14の離れと6の洋室を備えた居心地のよい空間。外に出ずとも由布院の四季を感じられ、旬の味覚のすべてが味わえる特別な別荘——チェックインからチェックアウトまで敷地内のみで寛ぐ宿泊客が多いというもうなずける。

離れでは基本、朝も夜も部屋食。山菜や川魚といった山里の旬の素材、A5ランクの豊後牛や九州で獲れた鮮魚を使った料理の数々が、名窯や骨董の器で見目麗しくサーブされる。季節ごとの、たとえば春なら春の食感と香りに包まれる食卓は、まさに亀の井別荘でなければ味わえない特別な贅沢といえるだろう。

左上：舌の上でとろける脂身と柔らかな肉質が特徴の「おおい豊後牛」。写真の温泉蒸しのほかステーキなどで提供される。上から、離れの一つ「17番館」2階のベッドルームは布団が苦手な欧米人にも好評。大分県杵築産の赤貝を、山菜の野蒜とともに、海の香りと山の香りが口の中に広がる。春の味覚、稚鮎を天麩羅で。美味しい日本酒がほしくなる味わいだ。

大分県由布市湯布院町川上 2633-1

Tel.0977-84-3166

www.kamenoi-bessou.jp/

離れの「17 番館」6 万 2790 円

本館の洋室 3 万 9030 円～（ともに税・サービス料・入湯税込）

(p.075)

メゾネットタイプの離れ「17 番館」の源泉かけ流しの露天風呂。伸びやかな緑と空のもとゆっくりと温泉を楽しみたい。

p.076

Yufuin Luxury Villa -zakuro-

(ユフインラグジュアリー ヴィラ ザクロ)

由布院の原風景に抱かれて美食を楽しむ

2 棟のヴィラとダイニング棟からなる、1 日 2 組限定のプライベート感溢れる宿。ヴィラには内湯と露天風呂がつき、湯船から雄大な由布岳の麓に広がるのどかな田園風景と、すぐそばを走る列車の姿を堪能できる。春は桜や菜の花、初夏は青田、秋には黄金色に輝く稲穂、そして冬には雪景色——。由布院で生まれ育ったご主人、日野耕平氏の「昔ながらの由布院らしい景色をお客様に楽しんでいただきたい」という思いが形になった宿だ。

夕食はダイニング棟 2 階の個室で。メインは豊後牛の希少部位、柔らかく甘みのあるシャトーブリアンの炭火焼。わざわざ赤ワインのソースが肉の旨みをさらに際立たせる。また、この宿は朝食も人気。湯布院産の米を土鍋で炊いた自慢のごはんをぜひ興味いただきたい。

上：ヴィラ「14R」のテラスからの眺め。由布岳をバックに、特急「ゆふいんの森」が颯爽と走り抜ける。

左：大分で獲れた新鮮な魚介をサラダ仕立てで。

右：豊後牛の炭火焼にはワインや九州の地酒を合わせて。

大分県由布市湯布院町川南 1043-1

Tel.0977-76-8115

www.yufuin-zakuro.company/

ヴィラ「14R」5 万 9400 円～

ヴィラ「dadaroma」5 万 6160 円～（ともに税・サービス料込）

p.077

由布院を巡るなら

のんびりと、ゆっくりと。自然やアートを散策する由布院の旅。旅のプランを豊かにするおすすめスポットを紹介しよう。

由布市観光インフォメーションセンター YUFUINFO

2018 年 4 月に JR 由布院駅隣にオープン。美しい木のアーチと大きな吹き抜けに光が溢れる空間は建築家・坂^{ぼんしげる}茂氏によるもの。窓越しに由布院駅を行き交うクルーズトレインなどを眺めることもできる。観光案内の他、観光辻馬車や乗り合いタクシー「スカーボロ」の予約、荷物の預かりと配送、レンタサイクルの相談も。2 階には旅に関する図書が並ぶ「旅の図書館」と「展望デッキ」がある。英語での対応可能。

大分県由布市湯布院町川北 8 番地 5

Tel.0977-84-2446 開館時間 午前 9 時～午後 7 時 年中無休

辻馬車：定員 10 名 大人 1600 円、子供 1100 円（4 歳以上）

レンタサイクル：1 時間 250 円（5 時間以上は一律 1250 円）

yufu-tic.jp

宇奈岐日女神社、金鱗湖

この神社に伝わる説では、その昔由布院の地は大きな湖だったという。宇奈岐日女という神が山を蹴飛ばして湖の水を抜いたことで肥沃な大地が生まれ、由布院は盆地になった。しかし湖の主であった龍のために一部残したのが金鱗湖で、山を蹴飛ばしたときに一緒に吹き飛んだ鳥居が今も湖の中に立っているとされる。金鱗湖は一方から温泉、もう一方からは淡水が流れ込んでいる不思議な湖。寒い時期の気候条件によって現れる朝靄が神秘的だ。

宇奈岐日女神社

大分県由布市湯布院町川上 2220

金鱗湖

大分県由布市湯布院町川上 1561-1

COMICO ART MUSEUM YUFUIN

観光客で賑わう湯布院町の目抜き通り「湯の坪街道」から、角を折れて少し進むと見えてくるのが「COMICO ART MUSEUM YUFUIN」。焼杉の黒い外観が印象的なこの建物の設計は隈 研吾が手掛けた。事前予約制、最大 15 名までで 60 分のツアー形式という鑑賞スタイルを導入した美術館では、日本の現代アートを牽引する村上 隆と杉本博司の作品を展示。二人の作品はガラスと水盤で仕切られたそれぞれのスペースに展示され、互いの空間がうっすらと透けて見えるその景色もまた、訪れる者の感性を刺激する。

大分県由布市湯布院町川上 2995-1

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 30 分 隔週月曜休館

インターネットにて事前予約を。

camy.oita.jp